# 昭島市立つつじが丘小学校の校務改善~学校評価の工夫・改善を中心に~

昭島市立つつじが丘小学校 校長 上田 祥市

# 昭島市立つつじが丘小学校の校務改善 ~学校評価の工夫·改善を中心に~

- 1 校務改善は、人材育成
- 2 学校評価から始まる意識改革
- 3 二つのPDCAサイクル
- 4 6年間を繋ぐ学年経営
- 主体的に解決・創造する教師集団を目指して

\* 効率的な校務支援システムは必要。 しかし、 もっと必要なのは、システムを動かす人。

校務改善は、人材育成

教職員が学校ビジョンを共有し、 一人一人が自分の役割を自覚し、 当事者意識をもって チームワークよく協働できた時 目指す学校に近づいていく 本校の教職員の 過去の実態(課題)

- 1 「こなす」意識が強く、振り返りが少ない
- 2 与えられた仕事はやる(タスク管理)
- 3 自分の学級経営(授業)には関心がある
- 4 他の学級や学年への関心が薄い
- 5 議論しながら合意形成する経験が少ない
- 6 本気で学校を変えようと思っていない

# 本校の教職員の変容

- 1 授業や行事を振り返り、一度自分の中で その価値を考えようとするようになった
- 2 目的達成のためのマネジメントができる人 が増えた
- 3 他の人の経営や授業から意欲的に学ぼう とする人が増えた
- 4 学年経営を意識して、他学年や特別支援 学級と連携することが増えた
- 5 積極的に議論しながら合意形成できるようになった
- 6 本気で学校を変えたいと思う人が増えた



## 教職員が主体的に学校づくりに参画しようとするために 必要な4つの要素

### 学校経営方針への共感と理解

教育ビジョン・目指す学校像の明確化と共有

\* 共感を生み出す校長の教育への熱い思い

目標達成のためのプロセスの設計

目標達成に向けた組織としてのプロセス

\*「目標達成にために何をやるか」の個々の思考

日常の人間関係をもとにした協働

日常の人間関係をベースにした協働組織 \*交流・連携のできる組織システム

適切な評価による自己有用感

相互評価による自己有用感

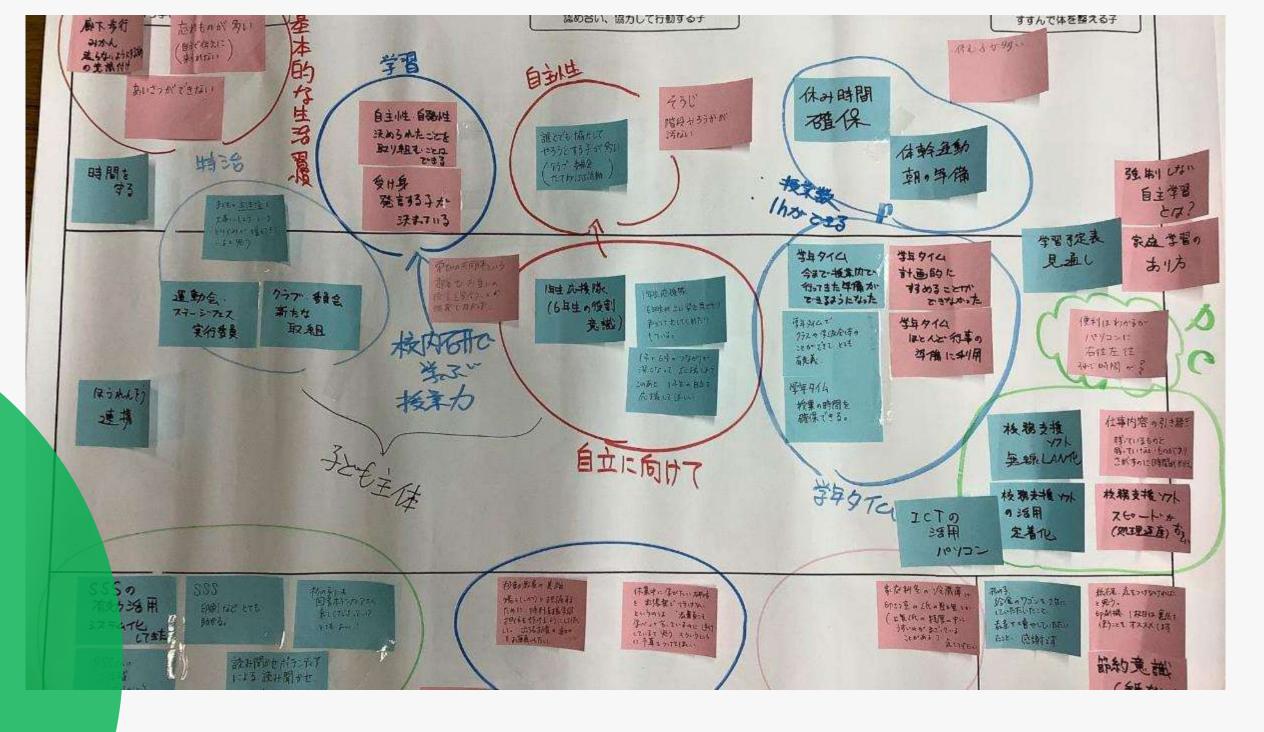
\*管理職の評価による価値づけ







学校評価から始まる意識改革



戦略マップを活用した学校評価

# 学校経営方針への共感と理解



₩ 昭島市立つつじが丘小学校 学校経営方針

教育ビ	ジョン
自立	共生

### 学校教育目標

『だれもが笑顔になる学校』

知 自ら学び、表現する子 自立 徳 認め合い、協力して行動する子 共生 すすんで体を整える子 自立

「自立」と「共生」の育成プロセス

#### 「自立」 「共生」 自分らしさを発揮し、 認め合い、助け合い、 自信を付ける 仲良くできる ・前向きに挑戦する 自分からかかわりを ・自分らしさを発揮す もち、協力して学習 や活動をする ・自分で目標を決め、・人のよさを生かす 主体的に行動する・人とのかかわりの中 ・自分で判断して、す に喜びを見いだす すんで行動する ・前向きに挑戦する ・相手に興味をもち、 ・自分のよさを認め、 協力して学習や活動 伸ばそうとする をする ・目標をもって行動す ・人のよさを認める ・困った人を助けよう ・自分で考え、自分で と考えられる 選択して行動する ・前向きに挑戦する みんなと協力して学 •自分のよさに気付く 習や活動をする 目標をもって行動す人のよさに気付く ・人との違いに気付く 自分のやりたいこと困ったときに助けを 求められる を自分で決める

#### 教育ビジョンを達成するための視点

教育ビジョン達成の組織

#### 学びの共同体

・学校を創造する当事者意識 ・児童理解に基づく実践 · 自主性・主体性(自己選択・自己決定) ・想像力と遊び心 ・協働する自立した教師集団 (学び合い・支え合い・高め合う)

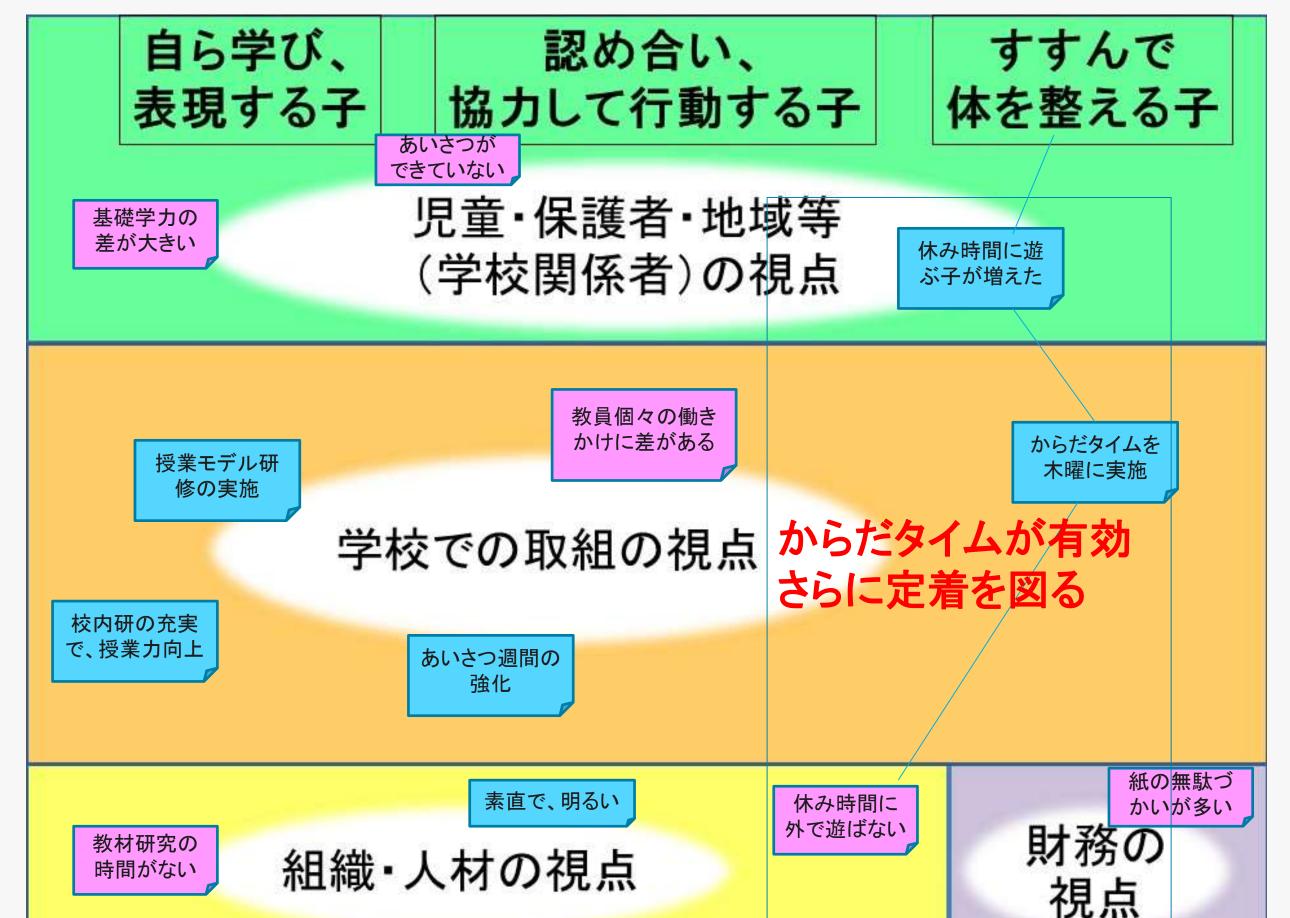
#### 未来に向かってチャレンジする教育

- 新学習指導要領に基づく授業改善・・・・・・・・学力向上部 学年会
- 2 学校評価をもとにした成長する組織づくり・・・・・企画委員会 部主任・ PJリーダー会
- 3 主体的に課題解決するプロジェクト型の学校改善・・・体育・保健PJ 特別活動PJ
- 子どもの元気を取り戻すからだ力の向上・・・・・からだ力向上PI 食物アレルギー対策委員会
- 自主性・創造性を生み出す特別活動の推進・・・・・特別活動PI
- 全教員の特別支援教育の理解と推進・・・・・・特別支援教育部
- PTA・地域と協働する学校システムの構築・・・・・地域学校協働本部

#### ひとりぼっちにしない教育

- 1 あいさつが通い合う良好な人間関係の構築・・・・・・生活指導部 児童会 クラブPI
- 2 SCと連携した組織的ないじめ対策・・・・・・・ 生活指導部 いじめ対策委員会
- 3 学年を柱とした経営の充実と6年間の学びの連続・・・・学年主任会 学年会
- 4 支援員等と連携した個に応じた教育の推進・・・・・企画委員会 特別支援教育部
- 5 SSSを活用した効率化と働き方のマネジメント・・・・企画委員会 学年会
- 6 幼保・小中の一貫教育の推進・・・・・・・特別委員会(小中・進学・就学)

### 戦略マップを活用した学校評価

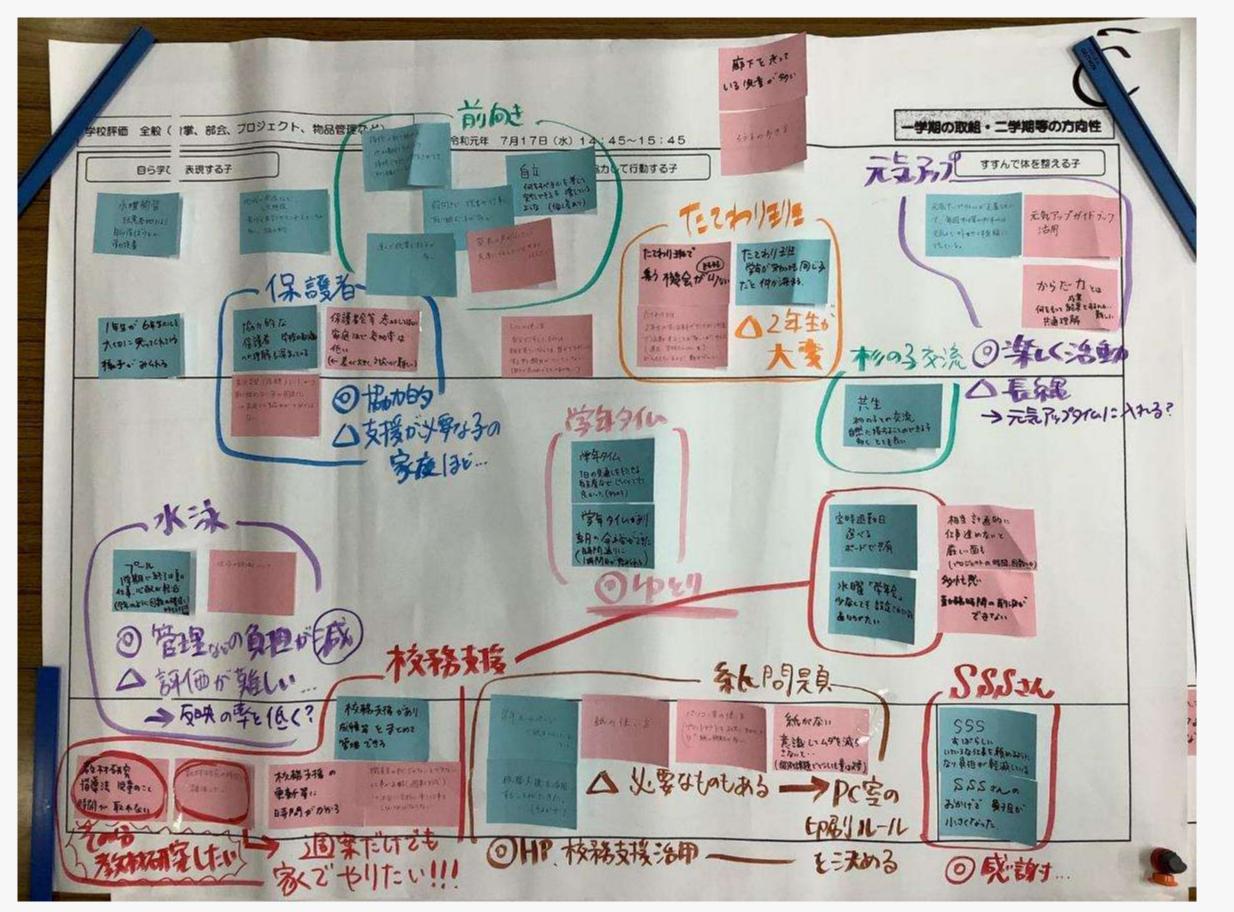


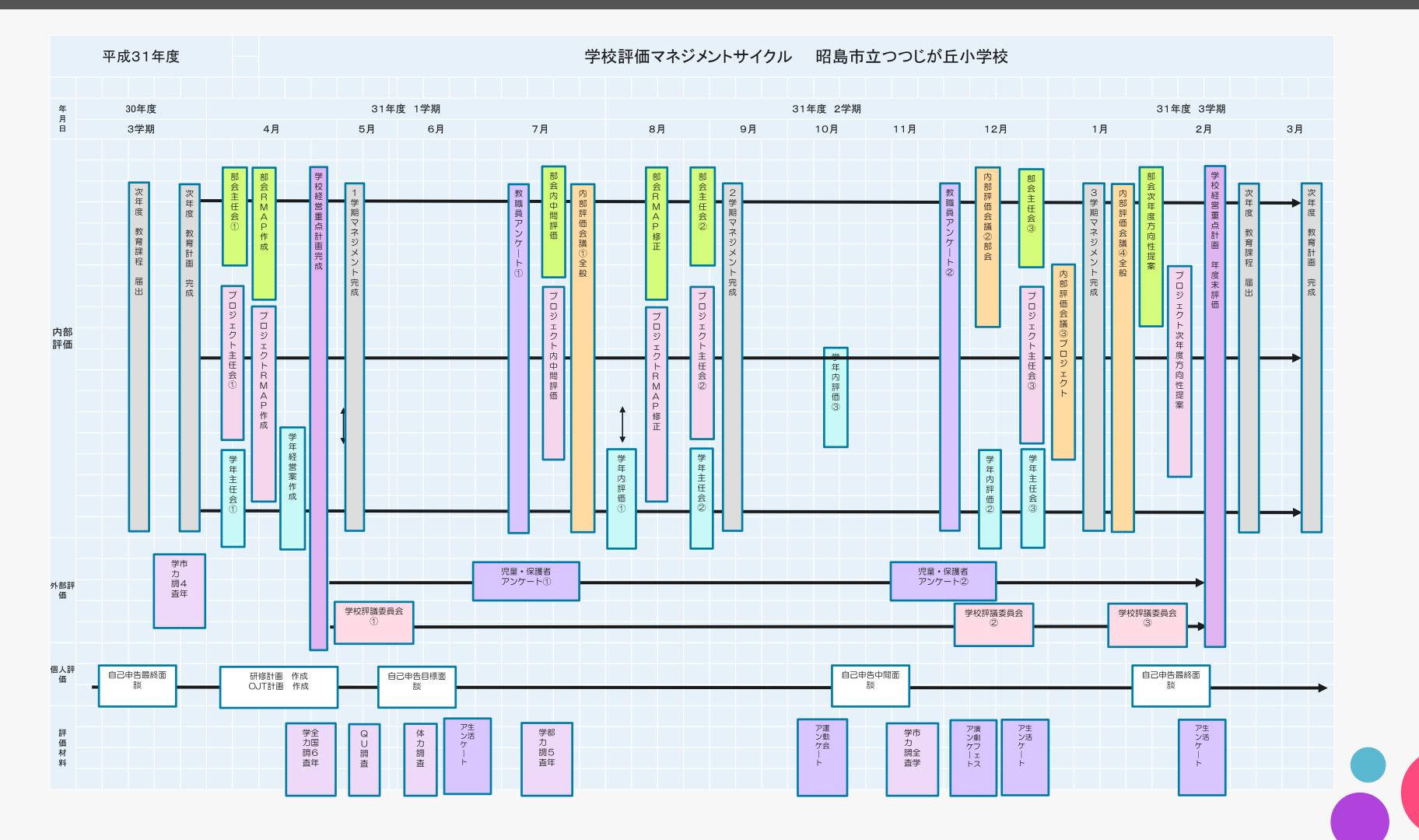
### 成果•取組

### 課題

- ①マップの下から上に関係するところを結ぶ。
- ②それぞれの因果関係を明らかにする。
- ③課題につながる線上に要因 が考えられるので、具体的な改 善方法を見出す。
- 4取組の足りないところは、何か策を立てる。

# 議論する学校評価





# 目標達成のためのプロセスの設計

課題解決する校務分掌 体育関係プロジェクト(体育主任)

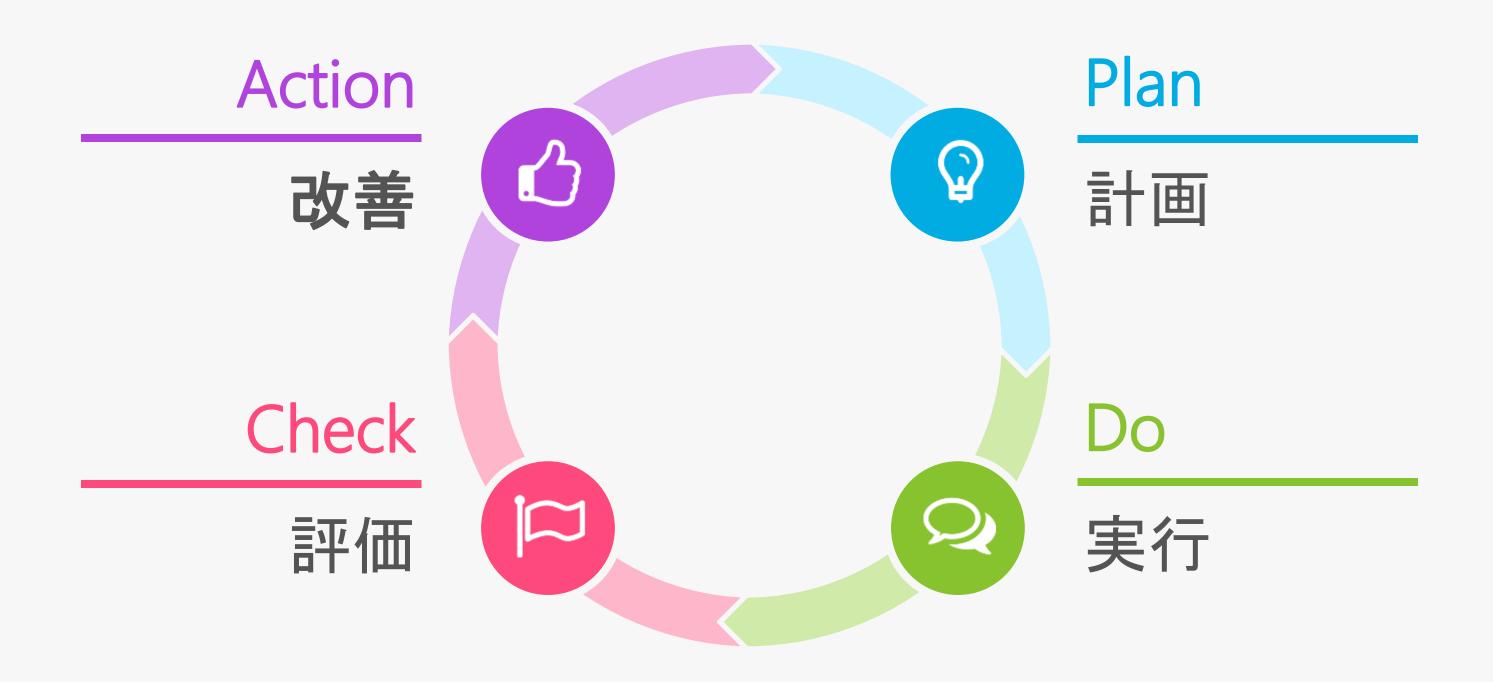
- \*からだ力向上プロジェクト
- \*運動会プロジェクト
- \*水泳プロジェクト

特活関係プロジェクト(特活主任)

- \*児童会・クラブ活動プロジェクト
- \*縦割り班プロジェクト
- \*ステージフェスティバルプロジェクト

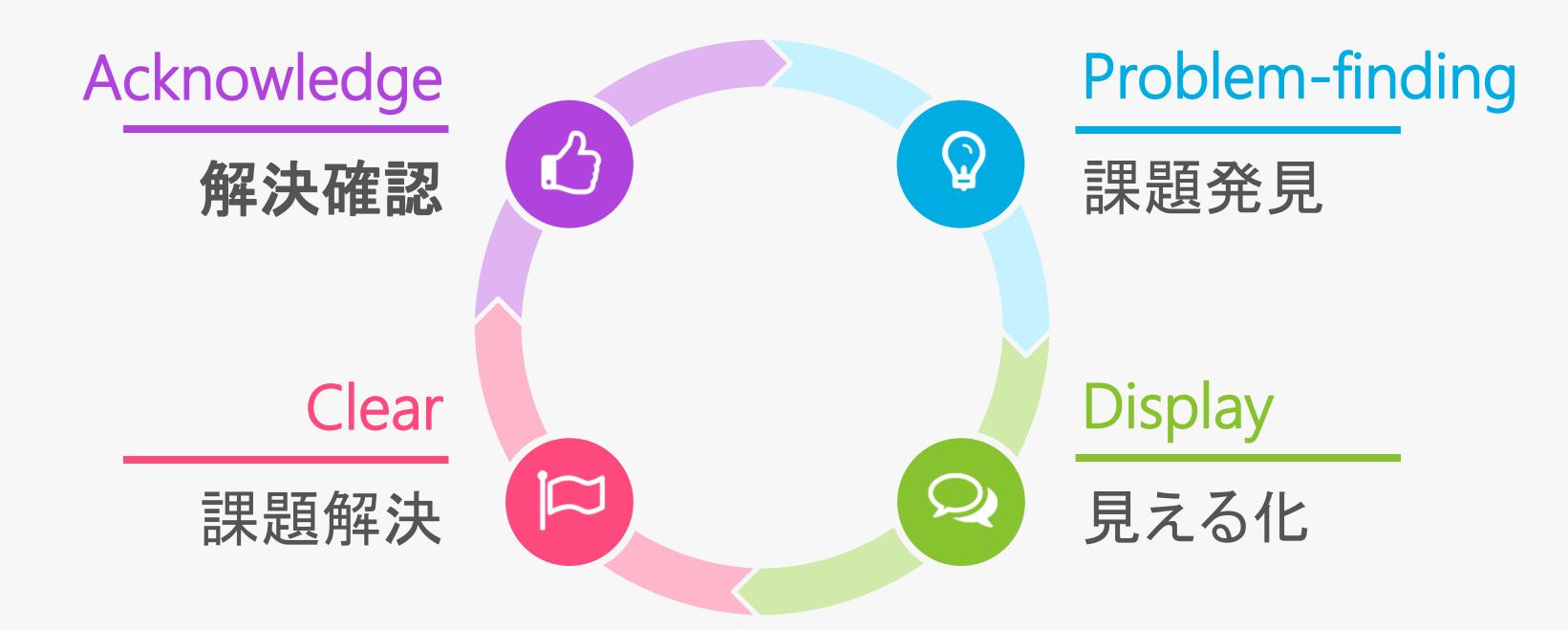


# 目的達成のPDCAサイクル





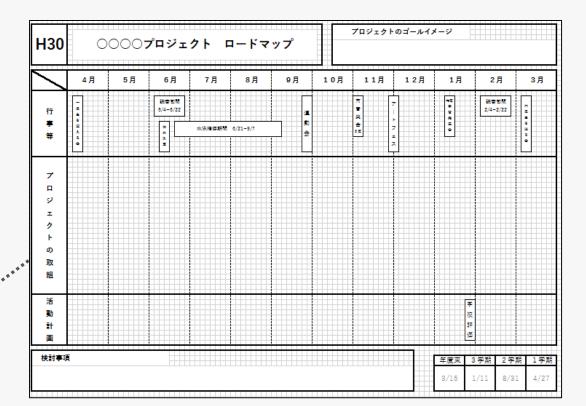
# 課題解決のPDCAサイクル



14



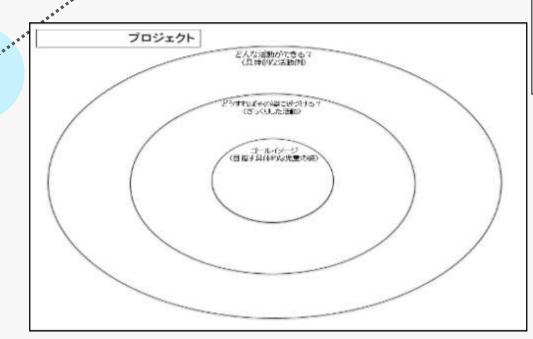
# プロジェクトの進め方



### 振り返りによる成果と課題の確認し

進捗状況の確認と応援

目標とルールの設定

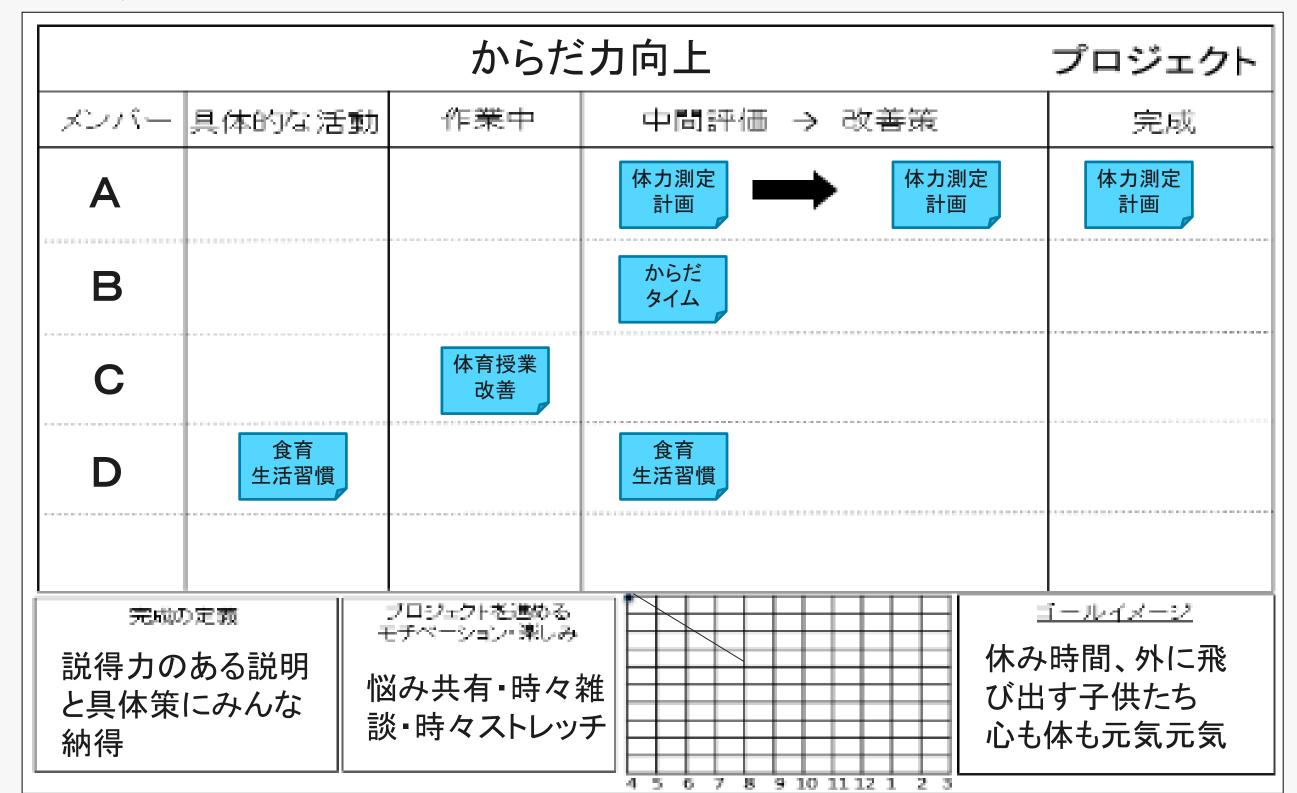


					プロジェクト
メンバー	具体的な活	動作業中	中間評価 →	改善策	完成
			$\rightarrow$		
完成功	定義	ブロジェクトを進める モチベーション・楽しみ			ゴールイメージ
			4 5 6 7 8 9 10 3		

### 活動内容・作業分担等の検討

【eduscrumシート】 (毎回のプロジェクトで使用)

- ・プロジェクトをすすめていく上で必要な活動を具体的に付箋に書き出す。
- ・作業分担を見える化し活動をすすめる。
- ・100%で活動を数値化し、ゴール時点を0とする。



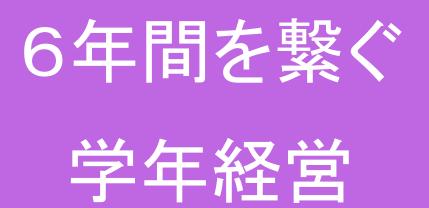
## 6年間で子供を育てる駅伝リレー

1. ポートフォリオ形式の学年経営案

2. 学年ごとの振り返りと改善

3. 縦の連携…学年主任会

4



#### 【年度当初】児童・生徒の実態

学習 国語・・校内平均:

算数・・校内平均: (全国平均:67.4)※11月実施学力調査

○自分なりに一生懸命考えようとする。

○家庭学習に取り組む習慣が身に付いている。

△学習に対して受け身な児童が多い。

生活 〇互いに協力しようとしたり、友達を大切にしようとしたりする児

童が多い。

〇責任感をもって活動に取り組むことができる。

△指示待ちで周りに流されて動く児童が多い。

△集団ではできるが、個人で自主的なあいさつができない。

#### H30

### つつじが丘小学校

#### 教育目標

☆自ら学び、表現する子

「だれもが笑顔になる学校」☆認め合い、協力して行動する子 ☆すすんで体を整える子

### 第5学年経営案

#### 学年目標(目指す児童・生徒像)

最高学年での大きな「ジャンプ」を目指して

○自ら「学び」、「関わり」、「表現」する子

○高学年としての自覚をもち、考えて行動する子

#### 【年度末】児童・生徒の実態

学習 国語・・校内平均:

〇与えられた課題や学習については、一生懸命取り組む。

〇学力(応用)が伸びてきている。

△自分に必要な学習を考え、取り組むことが苦手。

生活 〇大きな集団での活動や行事には協力的。

△女子の人間関係は不安定。

○責任感をもって活動に取り組むことができ、意欲的にリーダーや

代表としての活動に取り組もうとする児童が増えてきた。

△活動に対する目的意識が低い。(指示待ち)

△あいさつをすすんでする児童もいるが、まだ少数。

# 

### 1学期

### 2学期

### 3学期



#### 移動教室

・集団生活の中での役割の自覚

・仲間との関わり

よりよい集団形成

運動会

■・会の成功を支える係活動

- アートフェス
- ・主体的、創造的な表現■・1年間の感謝

- ■・仲間との協力、信頼、達成感
- ・学級のまとまり、協働 ・学校のリーダーの引継

6年生を送る会

・在校生代表としての自覚

・最高学年に向けての決意、覚悟

卒業式

#### 重点事項

- ○主体的な学習態度を身に付けさせる。
- ○自分の考えを表現する意欲を高めさせる。
- ○基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- ○自主的な家庭学習の仕方を身に付けさせる。

#### 具体的な手立て

- ・児童が学びたいと思う授業づくり。⇒児童による課題設定、自発的な学び合い。
- ・ペア、小グループなど、表現する場の設定及び工夫と保証。
- ・計画的な朝学習、東京ベーシックドリル等の活用。予定表による家庭学習の習慣化。
- ・自主学習ノートの活用、見通しをもった学習計画。

#### 重点事項

- ○高学年としての自覚をもたせる。
- ○主体的に行動できるようにする。
- ○場に応じたあいさつと言葉遣いを身に付けさせる。
- ○自ら関わり、仲間とのつながりを大切にできるようにする。・協働し、達成感の味わえる活動の設定。

#### 具体的な手立て

- ・委員会、運動会の係など、学校生活を運営する側の立場で考えさせる。
- ・考える場、挑戦する場、振り返る場の確保。指導者の、任せて・信じて・待つ意識。
- ・常に相手意識をもたせる生活指導の徹底。

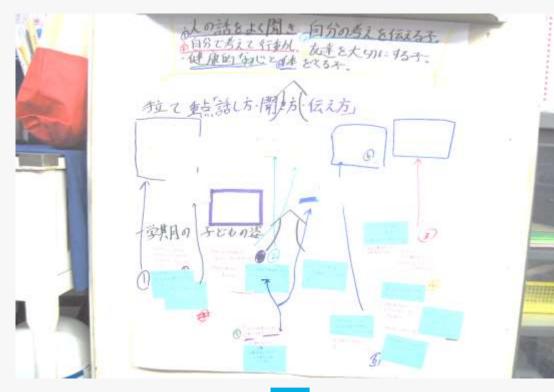


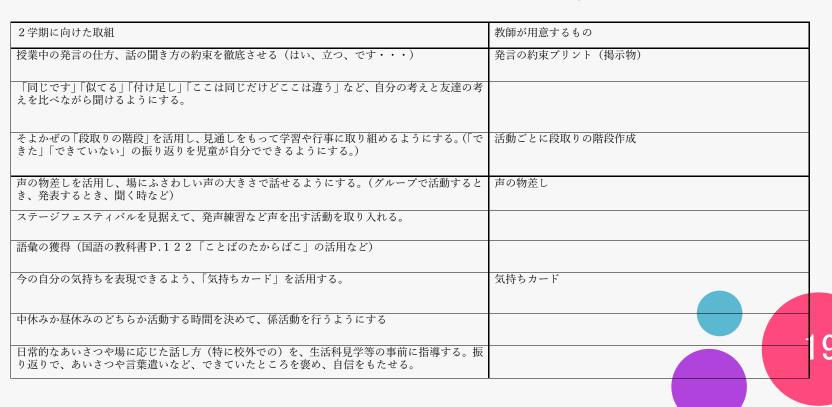
- ・年度当初に、前年度の学年経営案を基に学年で作成
- ・小中一貫教育として、中学校区の小学校中学校でフォーマットを共有

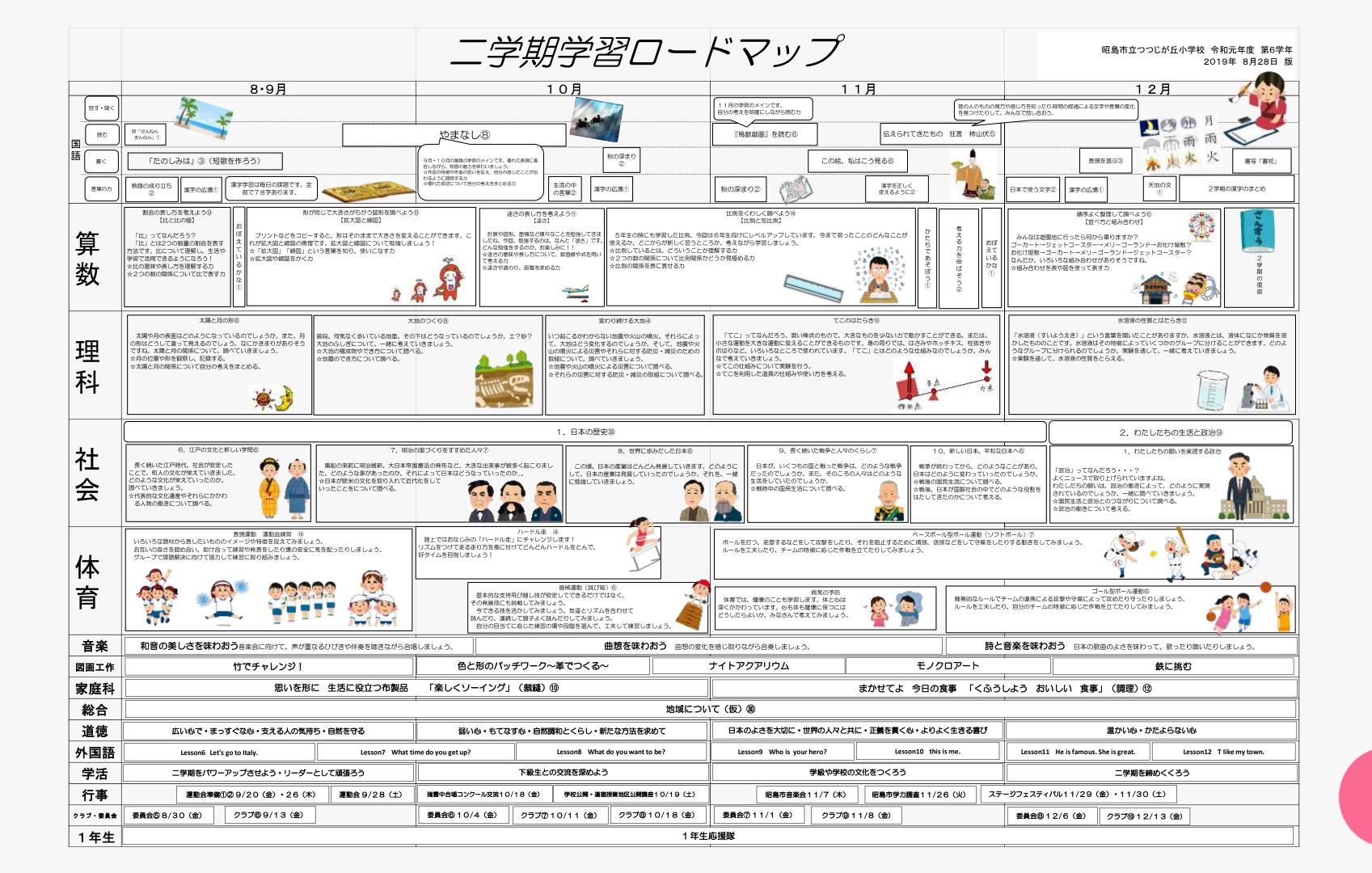
・中学3年生まで、9年間の学年経営案が積み重ねられる学年会での振り返りと改善

・学年ごとに学期末に学期を振り返り、改善策を練る

学年主任会で、縦の連携を図る









# 主体的に解決・創造する教師集団を目指して

教職の喜びと組織貢献の自己有用感をもたせる

協働して課題解決する喜びを感じさせる

自己改善にチャレンジさせる

02

# ご清聴ありがとうございました